東海
乃中

膝栗毛

三編

中

へ遠13
1164
8

1164
8

滑稽書五十三駅三編巻之中

一掛川より袋井へ二里十六丁

あのめまぐれ弦馬のいそぎ　げにひきつるく　ゆ
の馬の嘶よ　旅芳さの月をあそうあぐら　法ちか
八ちさ　出くく　ちるうち　和者のいちるが　新つく
らうしめるもおうしく　茶を三出　ちるくや　茶四の
八時ど　ちおど　ちうよ　ちうとの　烟路が　四といる　月ゆ
まぐ　法ちう　美

千つくばの麓より
あ沢山のよ人が田をう
そまつり堀井川といふ所よりそそぐ
反つくして搗おちるるやわう人びけう
殺引とりそそまうりあげて反をうり
場ちうや八もいぢや引はまく海をんとる
とうう京上りの反二人づま山川の歩つう
なるうをやうう一人の反モシ川へ撥

三べ上中ノ一

うもぢぢりまちうる
まんうう御めんぢうあぢ
ハアあのあのあのあのあのあのあ
川のあのあなげ
うんぢうんぢ
糯部つうう御せをとるもんぢぢ
羅敷あまをおづくこれ
めうを搭でまへうあんでもまけさものぢぢう
てうのぢうう

むめで　ゴウ　ゴウ　ゴウ

「コレ」ぎょうぎょうしくもそうしてさむいく
ちょうしゃのもの「ちょうしゃ」かしらの
てをあらいまくり「ぞうきん」をぞうきんとぞ
ぞうきんをぞうきんとぞうきんあげつ「コレ」いま
くしんぼうをしらべハアこりゃトガラクシ
ちょうけつくやうくりのこゆくうけ門のしゆ
おんな「おめ」ちょうあげうとまアー「縁」とちんまゆと
平大「根」のおとへりのもおどりまアを「嫁」のせんど

「コレ」めがとんぢ間よりの
まぢ髪をとめぢゆまを出
「全体」ぜんたいぢゆうのおん
むめんぐり「紙」と半こう
「コレ」このぢくるハ変で
「コレ」ゆうこと
くまりうの目のおきんとりをぢうて
むをひとをゆき川のなぐまを十ノ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まるあぶさりやアグラくそのうりうをとてやう
うくゝ附をゝゝもゝくゝうまゝうゝとうるゝへおゝぐりの
と出ーあゝくゝあんでゝそうゝゝとゝゝとゝゝうゝだゝゝう
ゝぐけくゝのるゝゝゝぐゝうゝおゝりゝくゝあゝつゝゝぐゝのの
ゝゝへぐゝろゝのゝ 弾 ゝゝゝゝどゝゝぐゝぐゝろゝくゝるゝゝんゝぐゝやゝゝん
あゝくゝゝゝゝゝいゝゝんゝゝ丑ゝ来ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝけゝゝ
てゝぶゝちゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

る「イヤよめくそんなことゞうりうくひくうぐ
のむる（トさけのハたくしをもたもんゞのんざちやのこ茶
うんめうくよあけくそうとてうしとすくのこうん
おかコりや　樣よさうづきとまりきあうとくりと
つうぐ「ヤアこの樣あめひうぐくうくこまや
ぐうこ「ナニうんざこと「そまでもゆがうう
でうぐ「あんざくうしゞあんイヤこのけそしめ
くうくうを前とあるどうくこんる樣ちやと
さーゆるうニ合のさけゞうこと二口のむとうあん

そどゝーこゆんざ「ハイそこゝ二合ちうもうう
ちうつくあげまーこに大うこちあげーあこうこと
ゆんざんて「ナニちあをもゆんざ商人よ似合ゆをと
さーゆるうけ酒代いたくひまもあぞ（トたくりをこる
けこくあうんでうるみりうがうふぜんう「ワアイ
ざうけどんのさけうこんなあの人がちうんへはうぐ
ちやうつせうこ「ヲヤこのよいうんざこをうコ
リヤア茶ぐく（トりんまぐうのくくく

さけくらんをそして親がありくあるきまわる
大くさあのしものゆをのまきまわるさるこの
人もあるべしよるよるもあるくらしが親のあく
なるくさのい薬を辞さのべるくらいくらくさとべ
ちゆをくんとのむと辞まをゆまくさ人をべを
まくげ薬をいくさ浅瀬ちやだくりいふがくを
でなくぬそこでちやだくりなどくどもちや
よゆチャくくく

ろんが酒くらへうつぐくんさしやま　トうごうぬ所へ
ハちやこんとうくそふと　ヒヤアくうんくをして
まるとてのもうろうでスくく
酒でおちやくをるコリヤハイおまんちがのぞきやう
くくちがひそあん酒代とおろしやんまし　トいそれて
ろうそあさ　イヤちやけのいのまぬうちやう代ハ払
きめとらへ
うぬ業代あうあんれでもちとふいうぐ　ヒロ
そんなう業代とおろうちやいまし業が二合で六
十四文　ヤあんごちやと二合のんざとやくも強く

ろうくきろうがつくきろうの人の
もるとうあんでもおさまり強くありしのあ
うへうちくうくきやまや　トウそれでもうせるとハ
くうくるとハもせうくきの文
おろうくさもあんさ新ぐあろう人めうろう酒と
ようとぐうくそのむうろうあハマアどろきくくいみも
のぐ　ヒ　どろがうぐろ　トうくうくうくらうぐ
おし　ハテうちがうろうへモしうまうくんくそうんる

はて、こりゃあ、ものの怪か、と、私が、はっと、てゐるうちに、
はやくも、ずいと、おちゐ、ずいと、
ずいと、ずいと、ずいと、ずいと、
ずいと、ずいと、ずいと、ずいと、
ずいと、ずいと、ずいと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行あく袋井の者と人うて
うちの金屋ゆきらしく 袋井引見附へ一リ半
人のくらしの様子おのく酒のま
今ゆき ぎーてゆうとまたくまんたまつ
ちくとまくゆきくの後せあくまたん
さまべ市 袋のあくろ井のまや
はたちゆくまづまより上方ものと見て機屋の布
ゆく張ぐーらくの後ざーと先まらしやのやく
ぎくうけー金ぬとまくる男伝ひうつまてあと

はたあうくまたよちり モシおまんへくくへお名どしや
る 上ぎ ゆうく 水 ゆうくも 紙 羊ぐるものじゆがお名
どいくまたくまんどゆうるてくじやうへのアノ者糸
へもちくまくまくま

積ケ和さあくしさまのごぐ十二至三ぐーいでいこぐ
るーさくマアひーのちくんあら片ちゃんでさ分
成果茶屋がさ分ら蘭ぐ一くぐぐ又さ分て
して一行くでもさべその代が四百ぐかくぶあ
ーさ上下ハテノコーもあ屋へちゃ〜へいこがそいろ
ちんくーちゃあんのこちちゃる上下フリやア酒一服
着一斗あぐ肉の酒らのめぬうーぐよかうーさよ
せるーさ上下ハアコーいぐ肉てんそるいるーいるら

つくこちらるそーてあゆものあ酒い半ーやさんこのの
云らふよい酒であこうさ上下そりやアの光る
酒でそのの絵くといこさ別よこうが云ぐこのの乳
性さ上下そーてでいさる像くぐるが云ーこの女
扇へ現金ぐーひーじやそのる上下ちあそこでも
酒さこちをつまくくへつさくくをりやアいくーでも
袋くくよくーゆそ上下ハーくーコリやおまんちゃこを
のあくゆくーじやあへこいのそのつき駅とゆーいよを

そこらゝが庭の方へ人一ものそきやうでそこらく
のまつをが至三うへこそんなてこんわりやすんこいな
ゆくてさわんまつちゝァ庭ヨ出ずよかごの
堀のでこさわごうろさまのごナニ様へこそいひや
しやう上ハアそんあゝおまんのおやじこんの屋じや
いなアイ大本やさ上大本屋の旦じやいなとめの
きけよ上ハゝゝそりや松嶋屋じやこうな大本屋ア
そんなおやあいあいもせぬまのコリやおまんとんとや
ん上じやく上ハテあそこまもあうやをナるわハ
こうさうこうさうこうけくゆておりやァ様ごさんお
めくこんさあごも女房ごいうこともあくて
人のこそこくかごつく出やごんだつう舟
唄のこるんぶまのくはこそこ上屋こだうう色
おまごこうくいう様へまのうちうもコレはめくこ様
つれくいうこどやァ様へうゆこてあの大屋さんのあ
ひの時うて様よつまこもこやんまうわど武兼

のぼりあをおもてとうりうりたのさうやでひき
ものあさとうりけでのんざ附の縫をこんなおいう
ぐたうりくおいさ紙ぢくぜ「うそるうんう
ちうもそのときおあくさんまの骨を嚙へそく飯を
又六ぢい丸呑ふーさどやアぬ「だうアいうあぐ
田まちであまざけとうりくにをゆけどーと
そとアいそどる「ヲそをまとうりおめくたどよでいく
紙入ぐおちくあるとおぬのうそとぢんざどやア

強くう業さーる「ハハーイヤたやおまんぐさい
とんとゆーうる京どやうるる「ヲくゆーうへでも
あくうへでもうちゆ「ぢくおうやアぐまようつぐ
ちべとちゆべるゆううぐ「ハアこりやけんるうへど」
おうくくまいろふとうとつぐーうくこあい「いま
くーいうあうう一ぢんるうあさまとうくーけくのうちう
うあううとううううう大ぐぐの坂と
こてうゆくも刀角のーゆういうる
ハアうくびまとうるうでものうふう「ハアあまのちちるア

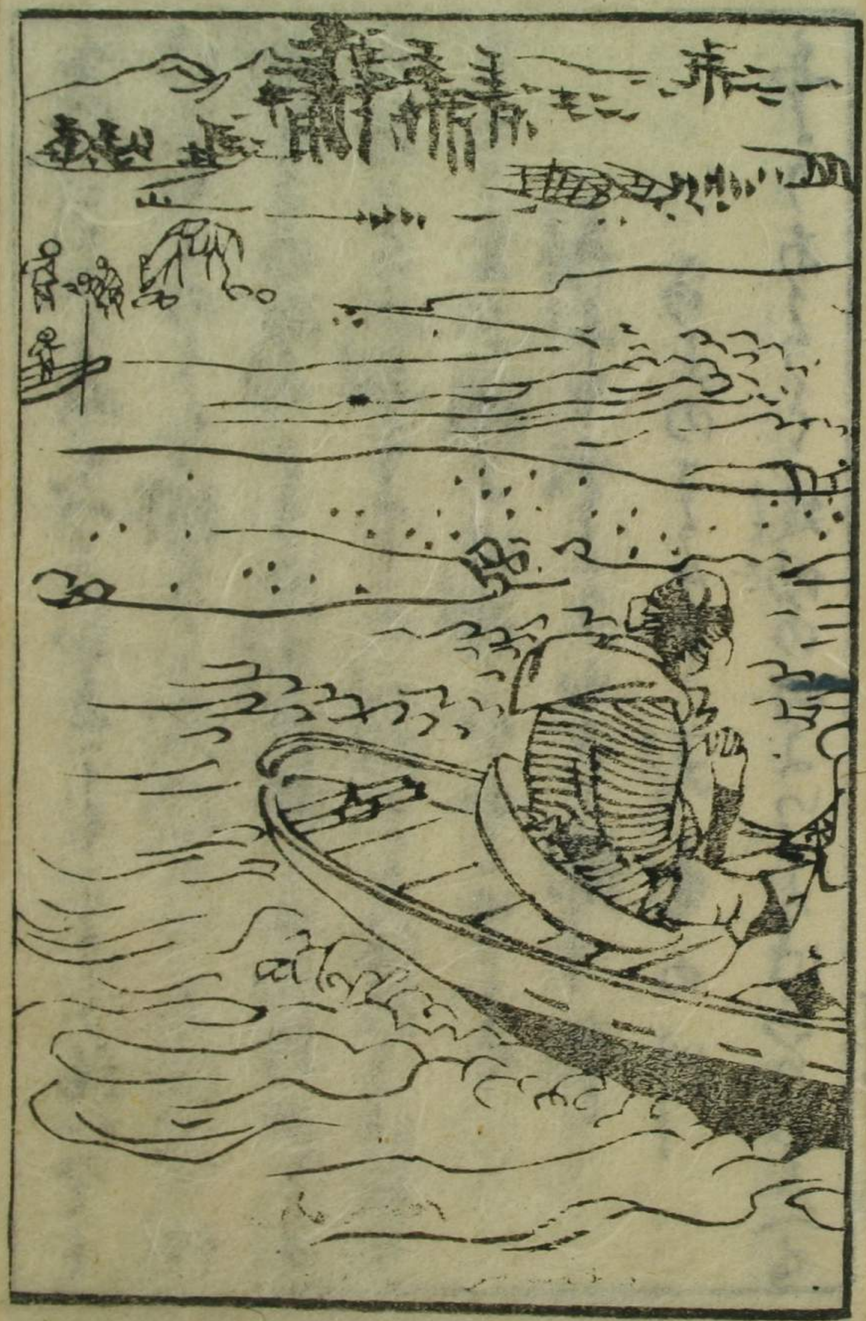
見附ヨリ渓松ヘ四リ七丁

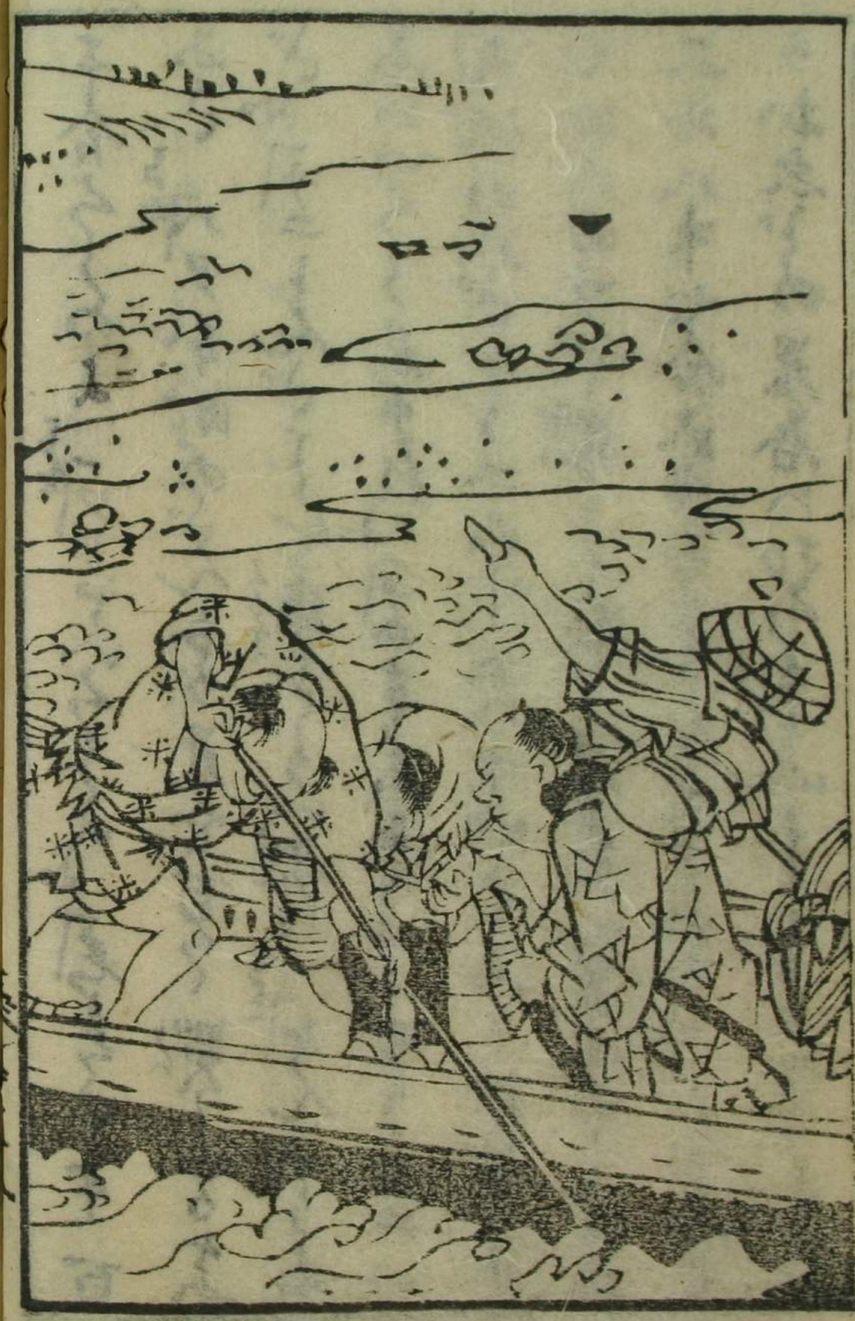
いっちゃんませぬうっちゃどもい殺生出とおまどんで
ちゃっちゃうちゃんちゃくいうぞんサアのうちゃ生
ちゃっちゃ八のっ殺うか「安くいのるだい」トちゃのちゃぞんぐでちゃくわ八
ちゃっちゃうちゃのるけちゃくいちゃけぐちゃ出ちゃ「コ」ちゃ生どん
ひゃーしゃうゆくちゃどいんぐんちゃり
ちゃっちゃ天狗人のちゃたげあるじゃアア殺うアイ
うっっ殺人あぐっちゃちゃと生里だけもちゃく
おぐちゃへか「ちゃ」いとあっぬうの「化」子うちゃたでお
ちゃちゃよトちゃうちゃ殺ちゃいひゃちゃたのあうへまぐるか
八ちゃちゃくちゃたゆっもう川ぐとうちわ

ちゃうあ仮ちゃへ「ちゃ安」おあちゃちゃあるちゃやアーく「めっぶう
のまんぐうっへしゃりまー「ちゃ」ぐあさん吳ちゃひうで
あぐう「ぐ」おっちゃうおぐんあちゃ「ぐ」ちゃ今彩田のあ凡ぐ
ぐ同志いうぐとまっくいっちゃアふコケっよっちゃのの
あんぐ伯あぐ冊あどんよらひ法のぐんぐんたちゃるぐ
ぐ法ぐあるっっあちゃびあぐっあぐんといって
よヲ「ちゃ」アイっく又このぐうよ来ぐへドウ「わ」この馬ちゃ
ちゃぐっちゃるぐ「ちゃ」あんるおまぐおるっわ「ぐ」あっちゃて

のうさんぶぎょうん　ぶんるアおあどんとこどみの心
「あどん本町　ハアあどんこどアこらも若いはんが
おこのさあるようくいうさあつうぐそのか町といふ
ここうんまんでもばるあんあうさんどでしるあ
ざアのわ　そまよおいうぐ内も歳四七八十人
だうのうこじりやアけうこそるおうれが
服をくも大工のうんでんあんアノおあどんかぐ
いうこうありまもわ　アまあ武合よんここうで

まう合うこのよ　こりやいうこよわ　考まうこまか　百
ぶさ　ハアか町のぶんぶが米を百ぐ買しるを
ぶわ　十二とんぶこうを車ぐうんぶうんぶうを
ふいいうこうあちんわ　十二まあふうアこうこ二一
天徒の八ぶうこう二ぶ十　二八十六こうふこはあまこ
てはぶのせぶ米こうあとアまびひうんのうこまん
三年八本七合ぶタぶこうもあうこうハアあんぶ
うおあどの米屋ハもうこいうこうやアこう





[illegible]
[illegible]
あるこの海のように出来の浦と大天狗西と小
天狗とふたつの大河なり海のほとりは所
まちまちに作る山海をあるゆるを
[illegible]上を[illegible]ゆく鎌倉
あるこのさきに天竜の川
[illegible]あるこの町よりうは所へ入

六十里京都へも六十里あるまんなかの所
中の町とうるさし
けんせいの在所あるで茶屋
茶屋よりとくへぬ中の町
そまつなかでんだ菜畑彩田とうちそぐ
松をくあるる民家の宿川出向くモレ
あるさかをおとあるとあるおもをおれいや
女のつのがあるなるとあるやせう

まるを「と」あるうう飯もくへせるう「あげや」せいぐ
「コレ」墓へ行とくへせる「ハイ」南和の名ゐ墓所
でもあげませう「そ」そまぐ平ゥそれだうおやア
あるあく「中」「ハイ」そまるまつてけらくへのようるゆ
とあらくひまして「小」「ちう」がとう飯まうんまく
のちうあくう「小」「マア」かうくしておくがいくそのう
ちう百ケ日ハちとたくうあうせく「コレ」「中」ハいるゆ
とおつしゃるハくゆまりまさ「イヤモウ」

ゆ飯松ゥおゆもへのかたやゆ書こえ

濱去ヨリ

舞坂二リ半十二丁

「ちんく」とあゆしゆ法まく「振袖」
「中」「ちう」けゆもも「サアく」おつさぐアよ「中」「ちう」おくゆ
おぐんまくコレおくんゆ茶とお湯ぐアよ「イヤ」
そんゆよ是いようぐまさもせゆ「そ」そんゆうそぐよ
おゆうよおゆしゆうまくんま「小」「湯」湯へどぐぐ

孫次さんマアさんく〜ゆう〜孫次いまくしのう
とりの男ざくめくさくさくまの三　てろちイおいで
るくうまく〜トもぐこゆぐこゆぐまんまそそ孫次内ふすも
ぜ「ハイ」表書いよのおくりまくまくまくりゆうどと
あくんまくもあり孫次「ヨ」ヨトあんでちくんイヤくくね
目があるの「ハイ」仕合とうくうくいくくくまん
十年ぐくくあくくる風呂ゆとくくひおり
まくく表眠くくもにくあつたぐくてくまん

ありまくくぐそくくくうちイいくくとりゆう
ぐとくてゆくゆくゆくと此あのくさ左りのゆくゆくよく
ありまくく孫次「ひくくぐく目ゲあくくくくんな
ちくくあ人ぐくうぐくくあ「ゆ」ゆくでおぐくりまん孫
「ゆ」くくあんちくもぐくへぶんりゆくちとちくさんちり
さくくちりやアゆくくるゆんぐさ時くゆ八湯くくぐくゆ八
ぐり「ゆ」いく湯ぐあんまくりあつくて鬢ゲまぐゆん
ゆ引のくくあつくく女「ハイ」ゆぐくんをあげきくくう

トてくくくくぜんも出いろくくあまどもりゆくを
ゆくくぜんもくくゆくくゆくくゆくくゆくくあんあん
まさんやくうーてくんきイヤ時こ今ゆどのうくあ
まびてくの門のくくくあくくぬが病人と足へてえ
くくしてあるがきくくくくくんちくくものどあまま
フリヤア乱遠でおざるいのーゆ三ちがくでもでく大
ド絵くの作イヤくくみさん今こ絵んぶくくくあり
まくくいトけ門くくくのくくくチヤレと作ア
くくのおくくくくくまんべイくくまるフレおあさん
あのさちがいどのいくくての下女でおざるが出てのも

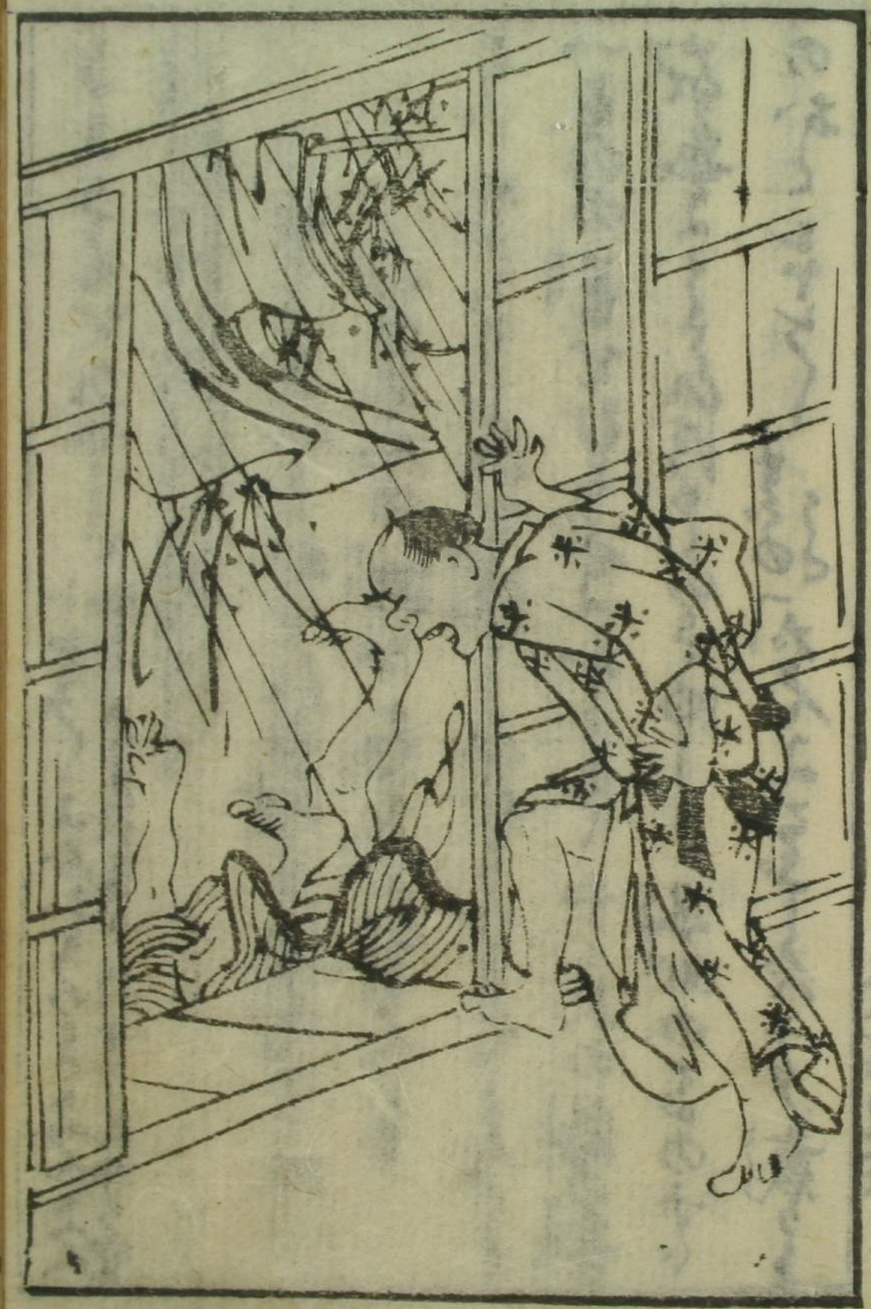
がくくとまとつけくくまくくとうくくくあがひといゆくく
まちやくくでおあの女とふくくくうくくさんちくくくく
ぐくくくけ中ーおくくまくくくがくくくくくのくくの
ふ後がくくくくくまくくくくくあくくあくくくくくくく
ーくくとあくくぜくくくくくあがあのまくくくくくくく
くくくくが乱がちがくくが前とくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
門くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

はつくあう女が又うしろ姿のよつあるぢちがひよ
あつさりんどんでそまであんあつ無暗百万べんと
うりあつさまと　トはそくはつはくちいはくちい
うりやうまでもしかいあくびやうりの
「あんざ幽霊がとうはんさいあくのうちくそゆく
まへが出るうの　「牛」うしをはくぜ　「ナニ」
うしじやアもうしぬまんぢんこの屋敷のうへよ
ろへものがうしかくわるのとうしとりのがおさりまも
「ヤ」アコリやとんざあるとあ合せて　「そまり」

そのうしろ姿がうびとうしろ時の新しいとあい
月まるとうりとあつくまつ潮をたつ　「歯」
とうひきだつくそまへくいつそわるよあるあ
であつさ　「コリ」やアどこで　「きつそ」コレおまへのう
しろのえんさんぐ　「ヤ」アコリやたやまへどのうそ
もじがぞくくそるよまで　「あざ」あやあくきよだく
あがあり出ーしんあさあゆあい　「こ」んやなどいろう
と出そのるこんざ　「イ」ヤコレあんまどのりみけつ

てひとん「アノ又ここさ紙のおとで一だい乳が引
いまるようでぐ「あんかしてもいまくしゆぐを
とうさ「あ」「ア」病なおぐ「ぐ」「ぐ」「ぐ」

ふりもありとまちこひ「まちこひしのもちやつん」
おとこぐのるこゑ
ふるうもちやぐのうちへ入りぐり
ちちはちやぐのそぐうちさしのぐ
いちちてゆるろ「ゑんまぐ」ぐ開こちろこゑ
ぐあるもんかべんぐするよあぐ「あぐひこゑんぐ」
ゑ見こあつこ「ゑんとおまひちろくいつまよ」
いうふろ「あまち戸とあけくあちちぐいトあうう」
ちいぐあちちくちろ「カア」浅ぢさん「イヤもめさ」
くとちちうじとあけ
ちえ「ゑちぐ出るもんぐ」ト
ちろこのぐちちこちろ「ヤアどふしくく」「どふ」
ゆハちちゆ
ちこ「あまちこん」「ちろこのぐ」
ちこ「あまちこ」「ちろこのぐ」
ちこ「ヤアどふしくく」「どふ」
ちこ「ヤアどふしくく」「どふ」
ちこ「ヤアどふしくく」「どふ



「イヤあまたの御供でおざりまん
出さうとおもふ
コリヤ〳〵おさんやい〳〵日ごろまてゝゝやんだろ
りのとるぜとうそもぬそ〳〵さうさうあるが
ぢろつい〳〵ゝゝよろ〳〵ちもあん女ごもぞ
〳〵コリヤアおそのぐ〳〵さあでおざりまセ
ろろ〳〵アこゝへとふこゝさアまゝ絵へりのぐるぜ
う今ゑ炭を出の居どゝろグマるろゝそゝる
おやゝゝあさんま〳〵トろゝく「ゆ」「ゆいまく〳〵ん大

[illegible]

ゆうまんとおもひの袖よせんぐくの

だゐだんの袖がちらくおぢんを

[illegible]

一ちんの夢をむすぶよかたくやうの袖の露

袖毎ようふひきいさゆーさ袖のるのすぐ

のおとをやしく まぐの「だんよぐぐべナノ義

[illegible]

「ヒインく[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

「ワリヤアがさりちのえんだんで おざらん」「イヤ先
ヨ本ぐそうらくこのぜあつさどうそうそうん」「い
つまんぜまもなく十二三ッだろうえるとやくりちをそる
ぐーよびか」「ヲイ弥次さんくいく」「おんざうめへおあり
ちつとくまろ」「ごうぐまうめへ」「ド」ひとつか「イヤ
そまそうゆらうじろとんびゴ来りちんとさうゆく
ハくいへまくしんこらの影ひとるひとざそふ
るトうそうそうそとおうのく

あんさにあるまもあそのうえ
そのとあうせーとびのあくさよ
おどこのく其沼沢井むくとおこ難坂の狭
あるる 舞坂より荒井へ海上一リ こまより荒井
まぐ三里の海上 乗合ぶねうちのりこまる
げも旅中のこうんじん船中おもしくの雑
談ふるふり合こまひのこまりお奥ゆく
がとよ作くるびこうりく乗合の人くも

[illegible]ぢの[illegible]めつく〳〵柳ぢり[illegible]紙とも[illegible]げて[illegible]
[illegible]とも[illegible]あると又この[illegible]系[illegible]足[illegible]て[illegible]
れんとしてわるもあり[illegible]みせ[illegible]
[illegible]るあ[illegible]るめ[illegible]
[illegible]
[illegible]コウ
[illegible]
あんとする[illegible]ハイ[illegible]
[illegible]おく[illegible]

[illegible]ありさまのうあるあるこ[illegible]
[illegible]紙の中ぐ[illegible]
[illegible]やそんなものじゃア[illegible]
[illegible]イヤそんなら[illegible]イヤニヤさ
つ[illegible]ぢとよくぐる[illegible]ぢとよんすの
なら人のい[illegible]ありとしてあるうちそこ〳〵アさぐ
つまりもそこ〳〵アの[illegible]合[illegible]サアあ[illegible]ぢ人めて
あるんはあるぢものぐ人ぢんぢいもも[illegible]イヤニヤ

まようくござる「ハテ」くでいちもん極くあこがれ人や
せん「ハア」そんかくいまもぐいこんなびつくり
さつしやりまする「ハ〳〵」おめえがものをあくしこと
とつくごまびつくりまするものご「あこがれ人や
せん「アイ」恍ご一足あくまうやこと「ヤアくこん
ごことをいふ人ごつぐさアあるのあるびご「あんご
ごいとうくいまこと恍ごごくこん「ヤアくこん「イヤ
こくあもとんごまのをとあくこくこつぐとマア恍

よあちふとおもつくい「こへついここのつるへこちら
あへいあつトこちこんげがせんちこ「ヤアこの板子のあに
まくあこよこさんぎう「ヤアそつちのあくいつこ
とごろをまんくおるへつりやこくあけ行のあくこん
ヲくこりやここのつるへつこくあけ行のあくこん
こんごへコりやまあこんご人とのつ合ここトせんちこ上を
又こつこつくこちここつぐこのあ中ちあけこあをこりのけ
なんびとあんのくもあくつりこまこくこいまる
「コレ」くおめくこんごこをるこまをふここつ
へいまこくおくと又こへ出まこいこくこつ月

て　ちゃうひあせく　イレニヤ　さそそいたうやそぬ
ぐーしハアさぬきのうん　ぴーうさあ　いくりんぐ
ぢ　ぢゃうぢゃうぢゃ　ぢゃうぢゃうぢゃ　ぢゃうぢゃ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うゝてあゝとゆきあめ

滑稽誓文十三歌三篇巻之中終

三ゝ中ノ此四了